

平成 29（2017）年度事業報告

《公益目的事業Ⅰ：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する 調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、平成 2 年 10 月に設立、平成 5 年 10 月に労働省（現厚生労働省）の認可を受けて財団法人となり、平成 25 年 4 月 1 日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図るため、様々な活動を展開してきた。

平成 29 年度は、「あなたの老後、だれが看るの？」をテーマとする「第 28 回アジア女性会議－北九州」の開催や、政治・経済分野において女性の活躍が著しい台湾について学ぶ「KFAW 台湾スタディツアー2017」を実施したほか、北九州市と共催で「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州」を開催した。

1 調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を発信した。また、KFAW アジア研究者ネットワークを充実させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

（1）客員研究員研究

平成 29 年度は、3 組の客員研究員による調査研究を実施した（調査研究期間：平成 29 年度～30 年度）。

ア H29/H30年度 KFAW客員研究員と研究テーマ

（ア）テレワークによる女性活躍についての研究

早稲田大学スマート社会技術融合研究機構客員主任研究員	井原雄人
情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科教授	湯浅壘道
学校法人九州国際大学法人事務局次長	神力潔司

（イ）日中における幼児教育とジェンダー－「教育家族」の中の父親役割－

奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究中心特任助教	磯部香
大連外国語大学日本語学院専任講師	黄一峰

（ウ）持続可能な開発目標(SDGs)におけるジェンダー視点の主流化に関する研究

北九州サステナビリティ研究所研究員	織田由紀子
-------------------	-------

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』を刊行した。

- ・ 『アジア女性研究』第 27 号 500 部

ウ 研究報告会の開催

第 29 回 KFAW 研究報告会を開催して、研究成果を市民に発信した。

(ア) 第 29 回 KFAW 研究報告会

- ① 日時 平成 30 年 3 月 25 日 (日) 14:00~16:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 報告内容、報告者
 - (a) 「日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題：ジェンダーの視点からの分析」
鹿毛理恵（東京福祉大学国際交流センター特任講師）
前山由香里（佐賀女子短期大学准教授）
 - (b) 「アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会：台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に」
田村慶子（北九州市立大学法学部教授）
疋田京子（鹿児島県立短期大学准教授）
- ④ 参加者 38 名

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数	満足度
研究報告会	1 回 (1 回)	38 人 (29 人)	93% (95%)
事業評価	「公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画」及び「第 3 次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえたタイムリーなテーマの調査研究を行うことができ、研究報告会も参加者から非常に高い満足度を得ることができた。		
今後の方針	女性の地位向上や男女共同参画社会の形成を推進するため、「公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画」及び北九州市の政策課題である「第 3 次北九州市男女共同参画基本計画」の重点取り組みに直結したテーマの調査研究を行う。 平成 30 年度も前年度と同様、3 組の客員研究員研究を予定しており、引き続き調査・研究事業の充実と多様化を図る。		

※ () 内は前年度実績 (以下、同じ。)

(2) KFAW アジア研究者ネットワーク活動

ア アジア研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする研究の成果を共有するため、市民向けのセミナーを開催するとともに KFAW アジア研究者ネットワークの充実を図った。

(ア) 平成 29 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

「イスラーム・ジェンダー学」科研（東京大学）との共催

- ① テーマ 「イスラーム世界の結婚最前線」
- ② 日時 平成 29 年 10 月 22 日（日）14:00～17:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 竹村和朗（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
嶺崎寛子（愛知教育大学准教授）
山崎和美（横浜市立大学准教授）
大形里美（九州国際大学教授）
- ⑤ コメンテーター 阿部尚史（東京大学）
田中友紀（九州大学）
- ⑥ モデレーター 田村慶子（北九州市立大学）
- ⑦ 参加者 44 名
- ⑧ 内容 エジプト、イラン、インドネシアを例にイスラーム教徒の多様な結婚の状況を紹介

(イ) 平成 29 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「それでも息子がほしいーネパールの男児選好の現在」
- ② 日時 平成 29 年 12 月 15 日（金）14:00～16:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 佐野麻由子（福岡県立大学人間社会学部准教授）
サンギータ バンダリ（ネパール NPO Sunrise Orphanage 代表）
- ⑤ 参加者 29 名
- ⑥ 内容 ネパールで社会問題になっている女児の中絶についての人々の考えや社会的背景を紹介

(ウ) 平成 29 年度第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「女性の人権から見る選択的夫婦別姓制度～女性差別撤廃条約と家族」
- ② 日時 平成 30 年 2 月 4 日（日）14:00～16:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 近江美保（長崎大学多文化社会学部教授）
- ⑤ 参加者 33 名
- ⑥ 内容 女性の人権と深くかかわる夫婦同氏制についての最高裁判決を、女性差別撤廃条約に基づき日本が負っている法的義務の視点から検討

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数（延べ）	満足度
セミナー	3 回（5 回）	106 人（125 人）	93%（94%）
事業評価	前年度に比べ開催回数は減少したものの、海外や日本の女性の人権をテーマにした研究者ネットワークセミナーは、参加者の満足度もほぼ前年度と同程度となっており、一定の成果を得ることができた。		

今後の方針	<p>セミナーについては、今後も、KFAW アジア研究者ネットワークを中心に、それぞれの研究者の研究テーマや時代に即したテーマを設定して開催する。</p> <p>さらに参加者の増加及び満足度の向上に努める。</p>
-------	--

イ キャリア形成のためのプログラム開発

KFAW の研究者ネットワークを活用して、高校生のためのキャリア形成プログラムや製造業における女性活躍推進プログラムの実践を行った。

(ア) 高校生のキャリア形成のためのプログラム

高校生のキャリア形成のために開発したプログラムを活用した講義を市内の高校で実施した。また、八幡西生涯学習総合セミナー、北九州市立大学と共同で、公募による高校生キャリア形成セミナーを開催した。

① 自由ヶ丘高校での講義

- (a) 日時 平成 29 年 9 月 30 日 (土) 8:55~11:45
- (b) 場所 自由ヶ丘高等学校
- (c) 講師 松本幸一 (九州国際大学准教授)
山脇直祐 (北九州市立大学講師等)
- (d) 参加者 2 年生 467 名

② 高校生キャリア形成セミナー (八幡西生涯学習総合センター、北九州市立大学との共同実施)

- (a) 日時 平成 29 年 7 月 8 日 (土)、8 月 19 日 (土) の 2 日間 16:00~18:15
- (b) 場所 北九州市立ユースステーション
- (c) 講師 ワークショップ: 北九州市立大学地域創生学群の学生
ロールモデルトークセッション:
原大道 (株式会社タカギ 人事課兼研究所準備室)
杉原美保 (株式会社アジュレール 代表取締役)
- (d) 参加者 高校生 55 名 (公募)

(イ) 製造業における女性活躍推進プログラム

製造業における女性活躍を推進するため、企業向けと就職を希望する女性を対象に開発したプログラムを実施した。

① 企業向け講座用プログラム

北九州商工会議所の会員企業を対象に、女性活躍の必要性とメリットの例示、北九州市の女性活躍推進の現状に関する調査報告等を行うとともに、各企業における女性活躍の現状や課題等について意見交換を実施した。

<企業向け講座の実施>

- (a) 日時 平成 30 年 2 月 8 日 (木) 10:00~11:30
- (b) 場所 ムーブ会議室
- (c) 報告者 吉村英俊 (北九州市立大学教授)
神谷直秀、小笠原圭子 (北九州市女性活躍推進課)
- (d) 参加者 北九州商工会議所 会員企業 4 社

② 就職を希望する女性を対象にしたプログラム

就職を希望する女性を対象に、製造業での就労のメリットの紹介、女性の活躍事例紹介等を行うプログラムを利用して、ムーブが主催する「就職支援講座」において講義及び工場見学を行った。(ムーブの就業支援講座に記載)

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数(延べ)	満足度
プログラムの実施	高校生2回(2回)	522人(248人)	74%(90%)
	企業向け講座1回(1回)	4社(8社)	—
事業評価	高校生キャリア形成プログラムは、大人数での講義となったため、アンケートの「満足度」は低下したが、「最も印象に残った話」の設問に、「女性がもっと社会で活躍していくといった話」や、「女性が出産すると仕事がしにくくなるといった話」が挙げられていたことなどから、男女共同参画に関する知識向上の面では効果があったと考えている。 製造業における女性活躍推進プログラムについては、北九州商工会議所の協力を得ることができ、会員企業への啓発を行うことができた。		
今後の方針	両プログラムを活用した講座を継続して実施する。 高校生キャリア形成プログラムについては、男女共同参画意識の浸透に、より効果的な実施方法を検討する。		

2 交流・研修事業

「第28回アジア女性会議—北九州」や「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州」などを開催した。

(1) 「アジア女性会議—北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議—北九州

「あなたの老後、だれが看るの?～高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます～」をテーマに、「第28回アジア女性会議—北九州」を開催した。シンポジウムでは、京都大学大学院文学研究科准教授 安里和晃氏の基調講演に続いてパネルディスカッションを行い、台湾の長期介護や外国人介護労働者の状況、日本の介護施設の状況などの発表と意見交換を行った。

(ア) 国際シンポジウム『第28回アジア女性会議—北九州』の開催

- ① 日時 平成29年11月25日(土) 13:00~16:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 参加者 129名
- ④ 基調講演 安里和晃(京都大学大学院文学研究科 准教授)
- ⑤ パネルディスカッション

<パネリスト>

安里和晃（京都大学大学院文学研究科 准教授）

李玉春（（台湾）国立陽明大學衛生福利研究所 教授）

伊藤妙（社会福祉法人青山里会 介護部門部長）

オプラス・ミア・レスリン

（特別養護老人ホーム第2 溪山荘ぼっぼ 介護福祉士(フィリピン出身)）

<コーディネーター>

堀内光子（KFAW 理事長）

⑥ 報告書の作成

『第28回アジア女性会議—北九州 報告書』

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数	満足度
アジア女性会議	1回（1回）	129人（173人）	73%（64%）
事業評価	今回のテーマ「高齢者の介護を誰がするか」については、非常に関心が高く、アンケートの参加理由では「テーマに関心」と回答した人が82%であった。また、男性の参加も21%（前年度12%）と高めであった。なお、今回のアンケートから設問に追加した「参加前のテーマの認知度」は34%、「参加後のテーマへの理解度」は72%であった。また、「今回の参加で男女共同参画への理解が深まったか」との設問では、5段階評価の4以上が61%、3以上が90%となっており、一定の成果を上げることができたと考えている。		
今後の方針	アジアを中心に世界のジェンダー問題について、タイムリーなテーマを選定して、国際的、先駆的議論の場を提供する。		

イ 国際理解促進事業

世界の女性リーダーが集まる国際会議「GSW」が、日本で初めて開催されたのを機に、東京大会の登壇者等を招いて、「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」を北九州市と共催で開催した。また、「多様性の国・インドネシア講演会」、「微笑みの国・タイの社会と女性」、「第61回国連女性の地位委員会（CSW61）帰国報告会」などのセミナーを開催した。

(ア) 「2017 GSW ポストカンファレンス in 北九州～明日のキャリアを見つけよう！～」

① 日時 平成29年5月15日（月）15：00～19：45

② 場所 ステーションホテル小倉

③ プログラム

第1部 GSW 東京大会リレートーク

<登壇者>

マリアンヌ・オンティベロス（エア・アジア・フィリピン会長）

マリリン・ジョンソン（元IBM副社長）

甲木正子（株式会社西日本新聞社福岡本社販売局企画開発部長）

<モデレーター>

堀内光子 (KFAW 理事長)

第2部 交流会&ワークショップ

<基調講演>

小笠原浩 (株式会社安川電機 代表取締役社長)

<ワークショップファシリテーター>

荒金雅子 (株式会社クオリア 代表取締役)

④ 参加者 475名

(イ) 第61回国連女性の地位委員会 (CSW61) 帰国報告会

① テーマ CSW61 について

<優先テーマ> 「変わりゆく仕事の世界での女性の経済的エンパワーメント」

<レビューテーマ> 「女性・少女のミレニアム開発目標 (MDGs) 実施における課題と達成」

(CSW58 回合意結論)

② 日時 平成29年6月23日 (金) 18:30~20:00

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

④ 講師 堀内光子(KFAW 理事長)

岡坂明日花 (BPW・CSW61 インターン派遣生)

⑤ 参加者 53名

(ウ) 国際理解セミナー「多様性の国・インドネシア講演会」

① 日時 平成29年8月27日 (日) 14:00~16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 講師 ヘルピン・ドゥイジャヤンティ

④ 参加者 40名

(エ) 国際理解セミナー「微笑みの国・タイの社会と女性」

① 日時 平成30年1月27日 (土) 14:00~16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 講師 富松寛考 (タイ国政府観光庁大阪事務所 PR マネージャー)

和田ワサナ (HAKATA 外国語スクール タイ語講師)

④ 参加者 48名

(オ) 国際理解セミナー「聞かせて！スウェーデン人のパパ～北欧と日本の暮らし～」

① 日時 平成30年2月24日 (土) 14:00~16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

③ 講師 ヨアキム キタザワ (イケア福岡新宮店マネージャー)

古野陽一 (NPO 法人子育て・親育ちエンパワーメントセンターBee 理事)

④ 参加者 55名

(カ) スウェーデン大使館巡回写真展「スウェーデンのパパたち」

- ① 日時 平成 30 年 2 月 20 日 (火) ~27 日 (火)
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 交流広場
- ③ 参加者 553 名

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数 (延べ)	満足度
セミナー	5 回 (4 回)	671 人 (268 人)	90% (84%)
写真展	1 回 (-)	553 人 (-)	-
事業評価	「GSW ポストカンファレンス in 北九州」やスウェーデン大使館巡回写真展「スウェーデンのパパたち」などの国際的かつタイムリーなイベントの開催によって、参加者の増加と、高い満足度を得ることができた。国際理解セミナーでは、各国の男女共同参画や女性の活躍推進の現状を市民に発信することができた。また、セミナーは、テーマの選定や進行方法を工夫したことによって、若い世代や新規受講者の拡大に繋がっている。		
今後の方針	アジア各国を中心とする男女共同参画の現状を紹介するセミナーを開催し、ジェンダー問題に対する理解を促進する。		

(2) 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、GOAL5(ジェンダー平等)を主とした幅広い海外拠点ネットワークの形成を目指し、ホームページを情報発信拠点としてリニューアルした。

【事業評価と今後の方針】

事業評価	SDGs の達成に貢献するためのホームページのリニューアルは、海外拠点ネットワークの活性化に効果が期待できる。
今後の方針	ホームページを活用して SDGs に関する情報を広く発信し、SDGs の達成に貢献するとともに、海外拠点ネットワークの形成を目指す。

(3) 海外派遣

平成 30 年 3 月にニューヨークで開催された第 62 回国連女性の地位委員会 (CSW62) への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供した (派遣人数 16 名)。

【事業評価と今後の方針】

事業評価	CSW への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供することで、世界の女性団体とのネットワーク構築や国連を中心とする世界の情報収集の機会を提供することができた。
今後の方針	引き続き当財団の関係者等に CSW 参加登録の機会を提供する。

(4) スタディツアー

台湾女性の社会進出の現状と課題について学ぶ「KFAW 台湾スタディツアー2017～台湾から学ぶ女性のエンパワーメント」を実施し、北九州市議会議員や大学教授、市民センター館長や国際NGOのメンバーなどの18名が参加した。

ア 事前勉強会

- (ア) 日時 平成29年12月7日(木) 13:30～16:00
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 台湾の女性についての事前勉強会
- (エ) 講師 宮崎聖子(福岡女子大学教授)
- (オ) 参加者 25名

イ スタディツアー

- (ア) 期間 平成30年1月17日(水)～1月20日(土)
- (イ) 場所 台湾(台北市、台中市)
- (ウ) 内容 ①台湾の歴史、台湾女性のこれまでの歩みや課題などを学ぶ
②働く女性をサポートする仕組みを学ぶ
③現地で活躍する女性たちとの懇談を行う
- (エ) 参加者 18名

ウ 報告会

- (ア) 日時 平成30年3月25日(日) 10:00～11:30
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 台湾スタディツアー報告
参加者によるパネルディスカッション
- (エ) 報告者 ツアー参加者8名
- (オ) 参加者 37名

エ 報告書の作成 200部

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数(延べ)	満足度・理解度
スタディツアー	1回(1回)	18人(15人)	100%(100%)
勉強会・報告会	2回(4回)	37人(99人)	75%(100%)
事業評価	女性の社会参加が進む、台湾の女性センターやNGO、保育所、高齢者施設の視察によって、台湾の女性を取り巻く現状と課題を知ることができた。また、台湾BPWとの懇談会を通じて、同団体とのネットワークを形成することができた。		
今後の方針	引き続き、アジアを中心とした女性のエンパワーメントについて学ぶスタディツアーを実施する。		

3 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、女性に関する情報収集やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

(1) 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』（日本語・英語版）を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『アニュアルレポート 2016』を発行した。

ア 情報誌『Asian Breeze』の発行

(ア) 発行部数・発行回数・時期

第 80 号 平成 29 年 7 月（日本語版 4,000 部、英語版 2,400 部）

第 81 号 平成 29 年 11 月（日本語版 3,500 部、英語版 2,000 部）

第 82 号 平成 30 年 3 月（日本語版 3,500 部、英語版 2,000 部）

(イ) 送付先

市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート 2016』を発行した。

(ア) 発行部数 日本語版 350 部、英語版 50 部

(イ) 発行時期 平成 29 年 8 月（日本語版）、平成 30 年 3 月（英語版）

ウ ホームページ、Facebook アクセス件数 275,130 件

【事業評価と今後の方針】

項目	発行回数	満足度
Asian Breeze	3 回（3 回）	80%（81%）
項目	情報発信件数	アクセス件数
ホームページ、Facebook	117 件（89 件）	275,130 件（260,433 件）
事業評価	情報誌「Asian Breeze」は、国際的かつタイムリーなジェンダー情報を掲載することができ、満足度も前年度と同程度であった。また、ホームページ、Facebook での情報発信件数、アクセス件数は、ともに増加した。	
今後の方針	引き続き、国際的かつタイムリーな情報を発信する。また、ターゲット層に合わせた効果的な広報を行う。	

(2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をレポートした。通信員から提出されたレポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebookなどに掲載した。

- ア 人数 5カ国6名（フィリピン、インドネシア、ネパール、ウガンダ、スリランカ）
- イ 任期 平成29年7月～平成30年3月
- ウ リポート回数 3回

【事業評価と今後の方針】

事業評価	男女共同参画に関する適切な情報発信が可能な海外通信員を選ぶことができ、国際的なジェンダー情報を発信することができた。
今後の方針	研究者、JICA研修員、留学生等のネットワークを活用して、海外通信員を幅広く公募する。

4 国際研修事業

JICA研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2017

開発途上国における女性のエンパワーメントや男女共同参画社会の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成していくため、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2017」を2回実施した（独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA九州）からの受託事業）。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2017 (A) >

- (ア) 期間 平成29年5月31日(水)～6月30日(金)
- (イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター 他
- (ウ) 研修員 7カ国8名（ブータン、フィジー、ガーナ、コソボ、ラオス、ミャンマー、パレスチナ）

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2017 (B) >

- (ア) 期間 平成30年1月15日(月)～2月13日(火)
- (イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター 他
- (ウ) 研修員 7カ国8名（アフガニスタン、ブータン、カンボジア、レソト、モルディブ、パプアニューギニア、南スーダン）

イ 市民交流会の開催

研修員と学生や市民との市民交流会を開催した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2017 (A) >

北九州市立大学との共同企画で学生との交流会を実施した。

- (ア) 日時 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 13:30~17:30
(イ) 場所 北九州市立大学
(ウ) 参加者 28 名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2017 (B) >

JICA 九州で実施されている「クロスロード・コミュニケーション」の「異文化理解セミナー」において市民交流会を実施した。

- (ア) 日時 平成 30 年 2 月 10 日 (土) 17:30~18:30
(イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター
(ウ) 参加者 53 名

【事業評価と今後の方針】

項目	回数	参加人数 (延べ)	満足度
研修	2 回 (2 回)	16 人 (18 人)	100% (100%)
事業評価	研修要望国が増加したため、前年度と同様、前・後期の 2 回研修を実施した。後期の研修では、新たに「ジェンダー予算」について、フィリピンの専門家を招へいして講義を実施した結果、ほとんどの研修員からジェンダー主流化推進に有益であったとの評価を受けることができた。		
今後の方針	研修要望国が多く、平成 30 年度も 2 回の実施を予定している。今後も講義内容のアップデートや講師とのディスカッションの機会を十分設けるなど、研修員の満足度向上と、行政官としての実務成果に寄与できるような研修の提供を目指す。		

《公益目的事業Ⅱ：男女共同参画に関する事業を通して男女共同参画社会の形成を推進する事業》

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 23 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。さらに、平成 28 年度から引き続き、平成 32 年度まで新たに 5 年間の指定管理の指定を受けている。平成 29 年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設 3 館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。

1 指定管理事業

(1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブフェスタ 2017」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画等事業（24 事業、参加延人数 8,957 名）

(ア) ジェンダー問題講座（5 事業、参加延人数 3,465 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画講座

(a) 「自分らしく生きる～飛鳥時代からの女性たちの生き方～」

講師：里中満智子（マンガ家）

(b) ムーブ・レディス映画祭～女性たちの人間模様～

映画『湯を沸かすほどの熱い愛』上映会&トーク

講師：樋口智巳（小倉昭和館館主）

② おとこのライフセミナー

「理想の男女、理想の夫婦」

講師：姜尚中（政治学者）

③ キャリア形成プログラム

(a) 北九州市立大学

実施回数：1回

講師：西本祥子（北九州市立男女共同参画センター所長）

城水裕美子（北九州市市民文化スポーツ局文化部文化企画課主査）

脇坂雄祐（北九州市財政局西部市税事務所納税課）

(b) 西南女学院大学

実施回数：2回

講師：松本幸一（九州国際大学法学部准教授）

山脇直祐（NPO 響都創研代表）

(c) 九州共立大学

実施回数：2回

講師：松本幸一（九州国際大学法学部准教授）

大島まな（九州女子大学人間科学部長）

(d) 九州国際大学

実施回数：3回

講師：大島まな（九州女子大学人間科学部長）

湯浅壘道（情報セキュリティ大学院学長補佐）

山脇直祐（NPO 響都創研代表）

(e) 九州女子大学

実施回数：1回

講師：山脇直祐（NPO 響都創研代表） ほか

(イ) 就業支援講座（13事業、参加延人数 4,525名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拓けるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

① 働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座（次世代リーダー養成講座）、フォローアップセミナー、ムーブカフェ

② 働くなでしこに贈る！お役立ちワンポイントセミナー

③ 夫婦で考えるハッピー仕事×子育て術

④ 女性のための就職応援講座～ものづくりの街・北九州でやりがいのある仕事を求めて～

⑤ 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）

⑥ パソコン講座 ほか

(ウ) 生活技術講座（6事業、参加延人数 967名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

① 男性向け講座（エプロン男子、介護男子、おとこの魅力アップシリーズ（パンづくり男子、アイロン男子、味噌づくり男子等））

② いまどきママのリフレッシュ講座 ほか

【事業評価と今後の方針】

項目	事業数	参加人数（延べ）	満足度
講座	24 事業（23 事業）	8,957 人（8,058 人）	87.8%（86.0%）
事業評価	<p>女性のキャリアアップや就業継続、男性の介護や家事参画など男女共同参画社会の形成を推進するための様々な講座を実施し、受講生の満足度は高い水準を保っている。</p> <p>平成 29 年度は男性向けの介護講座の企画に、過去の講座受講生で自主活動をしているグループに参加してもらうことで、より男性介護者のニーズに即した内容となり受講生の増加にもつながった。</p> <p>また、「働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座」の受講生を対象に「フォローアップセミナー」や「ムーブカフェ」を実施し、講座終了後もモチベーションの維持やネットワークづくりを図る取組みを実施した。</p> <p>さらに、市内の大学生を対象とした「キャリア形成プログラム」を実施し、多くの大学生の参加により、若い世代への啓発につながった。</p>		
今後の方針	<p>男性の家事参画につながる講座への受講希望が増えているなどの受講生のニーズの変化も見られることから、受講生のアンケート結果や社会情勢の変化などを踏まえて、より充実した内容の事業の実施に努める。</p>		

※（ ）内は前年度実績（以下、同じ。）

イ 市民活動支援・連携事業（4 事業、参加延人数 624 名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) ムーブ学生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

(イ) ムーブサポーター事業

(ウ) ファミリークリスマス in 北九州 ほか

【事業評価と今後の方針】

項目	事業数	参加人数（延べ）	満足度
講座	4 事業（6 事業）	624 人（601 人）	91.8%（97.0%）
事業評価	<p>団体等との連携や支援を積極的に行い、男女共同参画社会の形成を目指すための市民の自主的・創造的な活動を促進した。</p> <p>ムーブ学生プロジェクトについては、平成 29 年度から北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習として連携実施し、ムーブフェスタでの事業企画や KFAW のイベントへの参加など、若い世代の目線での情報発信への支援を実施した。</p>		
今後の方針	<p>引き続き男女共同参画社会の形成に向けた市民の自主的・創造的な活動への支援・連携を推進していく。</p>		

【事業評価と今後の方針】

項目	事業数	参加人数（延べ）	満足度
主催事業	5事業（5事業）	637人（692人）	93.6%（93.0%）
市民企画事業	112事業（116事業）	20,693人（21,929人）	—
事業評価	主催事業はいずれも来場者の満足度が高く、市民企画事業数、ムーブフェスタ全体の参加者数も高い水準を維持しており、多くの市民への男女共同参画意識の啓発につながった。		
今後の方針	引き続き、幅広い市民の参加を促し、男女共同参画社会の形成の推進につながる事業を展開する。		

オ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害等について、相談員がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、弁護士による女性の人権に関する相談や法律基礎講座、相談に携わる方々を対象により質の高い支援を目指した対人援助職者セミナーなどを開催した。

また、KFAWで養成したデートDV予防教育ファシリテーターのフォローアップをムーブで実施し、相談業務の実績を踏まえたデートDV防止の指導者の育成に取り組んだ。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談
男性のための電話相談・弁護士による無料法律相談

区分	電話相談件数	面接相談件数	合計	
一般相談	3,239件(3,143件)	240件(338件)	3,479件(3,481件)	3,963件 (4,127件)
人権侵害相談	164件(257件)	9件(10件)	173件(267件)	
女性のための 元気アップ相談	49件(51件)	106件(149件)	155件(200件)	
男性電話相談	38件(31件)	—	38件(31件)	
法律相談	—	118件(148件)	118件(148件)	

(イ) 講座（5講座、参加延人数159名）

- ① 女性のための法律基礎講座（2回連続講座）
- ② 男性のための法律基礎講座
- ③ 単発講座

「私がわたしのベストフレンド！～夢をかたちにするコラージュ療法～」

講師：黒瀬まり子（臨床心理士）

- ④-1 第1部 女性への暴力ゼロ運動特別講座

DV問題を考える「若者の性を守ろう！」

講師：角田由紀子（弁護士）

宮本節子（ポルノ被害と性暴力を考える会世話人）

④-2 第2部 デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座

「デートDVって何?～若者のデートにひそむ『力と支配』～」

講師：角田由紀子(弁護士)

宮本節子 (ポルノ被害と性暴力を考える会世話人)

発表者：リップルふくおか・DV防止北九州メープルリーフの会

NPO法人FOSK 各団体代表者

(ウ) 対人援助職者セミナー (参加人数 98名)

医療、福祉、教育などの対人援助職者を対象に、相談対応や知識の向上を図り、関係機関とのネットワークを深めることを目的に開催した。感情労働をテーマにグループワークを実施し、共感疲労を自覚することの大切さなどを学んだ。

「感情労働としての対人援助職(実践編)～ストレスマネジメント、セルフケア～」

講師：武井麻子(日本赤十字看護大学名誉教授・日本集団精神療法学会理事長)

(エ) ホットライン (相談件数 38件)

女性の人権に関する相談に弁護士などが直接電話で応じた。

① 女性への人権侵害相談ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】

② 女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性への暴力ゼロ運動」事業】

(オ) グループ相談 (前期・後期2回開催 参加延人数 45名)

① 中年期のあなたのためのグループ相談

50代～60代の女性を対象に、集まった仲間と共にこれからの人生を自分らしく豊かに暮らす方法を探る会を企画した。

② 私らしい選択～離婚と自立～

人生という長いスパンの中で、結婚生活や離婚問題において抱えてしまう課題等を冷静に見つめ、自立した自分になるために何ができるかを考える会を企画した。

(カ) 自助グループへの支援 (支援数5グループ、参加延人数78名)

会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

(キ) その他啓発 (2事業)

① パネル展示「ワリかん！？ワリとかんたん！？男と女のいい関係」

② パネル展示「デートDVについて知ろう！」

【事業評価と今後の方針】

項目	電話相談件数	面接相談件数	合計
相談件数	3,490件 (3,482件)	473件 (645件)	3,963件 (4,127件)
項目	事業数	参加人数 (延べ)	満足度
講座	13事業 (10事業)	418人 (521人)	94.8% (89.6%)

事業評価	<p>相談件数は、前年度比 3.97% (164 件) 減少したが、新規の相談者が増加した。依然として、継続相談者の多くは相談室が生活の支えになっているようだ。面接相談は、全体件数の 11.93% (473 件) を占めている。直接会って話したいという希望も多く、自らの思いを吐露する相手を求めていることがうかがえる。また、相談内容から見えてくる社会情勢を踏まえた講座等を開催した。企画した各講座には、多くの参加をいただき、周知と啓発につながった。</p> <p>特に、フォーラムで養成したデートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座については、デートDV予防教育を行っている 3 団体から現状と課題等を報告していただき、講師を交えてお互いの連携を深める場となった。</p>
今後の方針	<p>相談室に寄せられる悩みに対して、性別による固定的観念にとらわれず、自分らしく生きられるように、ジェンダーの視点に立って解決を目指す相談事業を推進したい。今後も相談者の背景にある社会情勢を分析し、充実した講座等を継続する。デートDV予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座については、予防教育を実施する各団体の資料をもとにプログラムの改善を図る機会を持ちたい。自助グループには、参加者が自由に発言できる場を提供することで、課題解決につながるよう積極的な支援を行いたい。</p>

カ 情報事業

(7) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

図書 55,908 冊、雑誌 76 種類、DVD 102 本、ビデオ 212 本

② 図書・資料等の提供 (貸出等)

図書やDVD等の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況 貸出冊数 46,113 冊、貸出者数 17,363 人

(b) 親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「お話し会」 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報 (ムーブネット) の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体 (グループ) の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数 78 件 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・ホームページ、Facebook アクセス件数 298,023 件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 350 人（平成30年3月31日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題調査・研究支援事業

(a) 平成29年度ジェンダー問題調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者グループ等を支援するために、その調査費の一部（上限30万円）を助成。今年度は、1事業を支援し、研究結果については、平成30年3月に報告書を発行した。

テーマ 「建設産業の男女共同参画推進実態調査」

市民グループ たて子とちく子 代表 籠田淳子 氏

(b) 第20回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）

テーマ 「シェアハウスにおける新しい人間関係の形成ーひとり親家庭を中心にー」

発表者 翁 文静 氏（九州大学 人間環境学府 博士）

コメンテーター 葛西 リサ 氏（独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員）

② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業

(a) ムーブ叢書 冊子『見つめよう、ココロとカラダ。』

現代の若年層の女性を取り巻く問題は、心の病気や思いがけない妊娠等さまざまであり、予防教育の充実が重要な課題となっている。若年層の女性が「自分の体は自分で守る」という意識を持つことが出来るように、また、手に取って読み易いように、デザインや構成に工夫を凝らしている。

・発行部数 1,000 部

・体裁等 A5 版（無料）

(b) 「北九州市の男女共同参画統計データ」新規項目データを作成し、ホームページに掲載した。

・データ数 19 件

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数41名）

(a) 平成28年度に発行したムーブ叢書に関する啓発事業として、講演会を開催した。

・テーマ：「知らないって怖い！職場のハラスメント

～マタハラ問題からみる～

ハラスメントをなくして、誰もが働きやすい職場環境へ」

・講師：小酒部さやか 氏（㈱natural rights 代表取締役）

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

- (a) 発行日 82号 平成29年6月10日
83号 平成29年10月1日
84号 平成30年2月28日

- (b) 発行部数 各号7,000部

② 書誌情報誌『カテイング・エッジ』の発行

- (a) 発行日 60号 平成29年6月10日
61号 平成29年10月1日
62号 平成30年2月28日

- (b) 発行部数 各号3,000部

【事業評価と今後の方針】

項目	発行数	
ムービング	3冊	(3冊)
カテイング・エッジ	3冊	(3冊)
項目	情報発信件数	アクセス件数
ホームページ・Facebook	183件 (102件)	298,023件 (263,947件)
項目	利用者数	
図書・情報室	39,444人 (36,163人)	
事業評価	図書室の利用者は増加しており、ホームページ、Facebook等による広報効果によるものと思われる。「ムービング」、「カテイング・エッジ」により男女共同参画に関する情報等を多くの方に発信するとともに、ムーブ叢書「見つめよう、ココロとカラダ。」については、若年層の女性が手に取って読み易いようにデザインや構成に工夫を凝らし産婦人科医や助産師等の専門家の協力を得て、発行した。これらの情報発信により、男女共同参画社会づくりに貢献した。	
今後の方針	図書室の管理運営はもとより、ホームページ、Facebookの活用を強化するとともに、ムーブ情報事業の更なる充実を目指して情報発信を推進していく。ムーブ叢書については、市民に身近なテーマを設定しているが、今後も読みたくなるような工夫をするとともに、本市の男女共同参画の推進に、より一層貢献できる内容とする必要がある。	

キ 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

また、経済的効率化を図るため、館内の一部照明器具のLED化工事を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。(原則有料)

・平成 29 年度貸室利用人数 139,623 人

《参考：総利用者数 248,688 人（うち主催事業参加延人数 109,065 人）》

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 9 件、延人数 69 人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 14 件、延人数 1,846 人

(うち 4 件 258 人 ハラスメント出前講座)

(2) 勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア 男女共同参画等事業 (13 事業、参加延人数 665 名)

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、DV・セクハラ防止、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座 (9 事業、参加延人数 568 名)

① ムーブ・レディス映画祭「六月燈の三姉妹」

② ジェンダーワークショップ「絵本の世界から～絵本の中のジェンダー～」

③ セルフ・ディフェンス講座「女性のための防護術」

④ 女性学講座「男女共同参画の視点から読み解く 夏目漱石 (2 講座)」

⑤ 心理学講座「アドラー心理学とコミュニケーション」 ほか

(イ) DV・セクハラ防止啓発事業 (1 事業、参加延人数 23 名)

① デートDV防止教室「お互いを尊重し合う関係を築こう」(出前講座)

対象：啓知高等学校 3 年生

(ウ) ワーク・ライフ・バランス推進講座 (2 事業、参加人数 64 名)

① 「ワーク・ライフ・バランスについて」

② 「楽しく働くスペシャリストからの招待状」

(エ) 男性セミナー (1 講座、参加人数 10 名)

① 「男の料理」

イ 就業支援講座（39 事業、参加延人数 3,319 名）

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

(ア) 起業家支援（5 事業、参加延人数 189 人）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を行う。

- ① ネットショップ開設入門講座
- ② カフェの作り方講座
- ③ 小商いの始め方講座
- ④ SNS入門講座①, ②

(イ) キャリアアップ講座（7 事業、参加延人数 665 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。

- ① 行政書士入門講座
- ② 司法書士入門講座
- ③ 給与計算・社会保険事務講座
- ④ 魅力がアップする話し方 基礎講座
- ⑤ TOEIC検定講座 ほか

(ウ) 再就職支援事業（5 事業、参加延人数 26 名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

- ① 就職活動セミナー 3 事業
- ② 再就職支援セミナー「就職に役立つより良い家族関係と生活設計」 1 事業
- ③ 適職発見ワークショップ 1 事業

(エ) パソコン講座（18 事業、参加延人数 1,789 名）

- ① ワード・エクセル基礎・応用講座
- ② Jw-c a d 講座
- ③ エクセル 2 級・3 級検定講座
- ④ ビジネス速習「ワード・エクセル基礎・応用」
- ⑤ 働く人のためのエクセル「マクロ&VBA編」
- ⑥ 弥生会計 ほか

(オ) 資格取得講座（3 事業、参加延人数 640 名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 日商簿記 3 級検定講座
- ② 行政書士試験対策講座
- ③ 調理師受験準備講座

(カ) その他 (1事業、参加人数 10名)

- ① 働く人のための「味噌作り」講座

ウ 生活技術講座 (15事業、参加延人数 676名)

(ア) 子育て支援事業 (6事業、参加延人数 252名)

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 親子ワクワク教室 (前期・後期)
- ② ベビーマッサージ
- ③ 人形ボードヴィル ～笑顔の宅配便～
- ④ バレンタインの菓子づくり ほか

(イ) 生活技術講座 (9事業、参加延人数 424名)

家族の健康、家庭生活 (料理)、英会話などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実を目的とした講座を開催した。

- ① 英会話
- ② 季節の寄せ植え ほか

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (7事業、参加延人数 466名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- ① 東洋医学の知恵
- ② 骨盤矯正ダイエット
- ③ 3館連携リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座「骨粗しょう症の話と予防体操」

ほか

オ 市民活動支援・連携事業 (16事業、参加延人数 2,004名)

(ア) 市民企画事業 (8事業、参加延人数 689名)

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

- ① 「女と男の落語寄席」
- ② 「尺八と津軽三味線コンサート」 ほか

(イ) 友の会育成事業 (4事業、参加延人数 799名)

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

- ① 開館 30 周年記念 第 30 回フェスティバル ほか

(ウ) 国際交流事業 (1事業、参加人数 50名)

外国の音楽を通して、文化や楽器に触れ、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 「アフリカ マコンデ族の音楽と文化交流コンサート」

(エ) 託児ボランティア・図書ボランティア (3事業、参加延人数 466名)

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多くの情報を提供した。

- ① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」
- ② 図書ボランティア「リブロ」 ほか

カ 開館記念講演会 (1事業、参加人数 353名)

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

(ア) 開館 30 周年記念講演会「旅はこころのままに」

講師：榎木孝明 (俳優)

キ 相談事業 (2事業、相談延人数 9名)

- (ア) 女性のための相談室
- (イ) 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業 (1事業)

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て、図書の貸出し事業を行っている。

- ・貸出冊数 1,806 冊

【事業評価と今後の方針】

項目	事業数	参加人数 (延べ)	満足度
事業	94 事業 (100 事業)	7,492 人 (9,531 人)	95.8% (92.9%)
事業評価	男女共同参画社会の推進に向けて、文学講座や演劇などの講座を実施し、多角的に事業を展開した。カフェ開設を目指すための「カフェのつくり方」をはじめ、時代を反映した講座として、「ネットショップ入門講座」や「小商いの始め方講座」、「SNS 入門講座」を開講し、起業支援の一助とした。 また、ムーブ・レディス 3 館連携事業として、映画祭に加え、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座でも連携して取り組み、骨粗しょう症の話と予防体操について学び、実際に骨密度の測定を実施するなど、健康維持に対する意識を高めた。		
今後の方針	ジェンダー問題については、様々な視点から「男女共同参画」について理解を促し、また広く啓発を行う。 就職支援については、受講生のニーズの把握に努め、充実を図る。 また、引き続き 3 館連携し類似講座の共通化等に取り組んでいく。		

【レディスやはた】

ア 男女共同参画等事業（13 事業、参加延人数 750 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、ライフイベントリー、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座（8 事業、参加延人数 538 名）

- ① ムーブ・レディス映画祭「フラガール」
- ② ジェンダーワークショップ「ジェンダーって何？」
- ③ DV 防止啓発セミナー「デート DV って何？」
- ④ 自分と向き合うストレスケア法

(イ) ワーク・ライフ・バランス推進講座（2 事業、参加延人数 42 名）

- ① 仕事が楽になるスキル講座「ワードでチラシ作成」
- ② ライフイベントリーセミナー「Let's 人生の棚おろし！」

(ウ) 男性セミナー（2 事業、参加延人数 120 名）

- ① 男性料理教室 初級・中級

(エ) メディアリテラシー講演会（1 事業、参加人数 50 名）

- ① 「北九州・ロケ地によるまちづくり～働く女性と映画～」

イ 就業支援講座（19 事業、参加延人数 3,257 名）

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

(ア) 起業家支援講座（6 事業、参加延人数 652 名）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を実施した。

- ① リンパドレナージ養成講座 初級・中級
- ② ハンドメイドでプチ起業 初級・中級
- ③ 魅力がアップする話し方講座 入門・活用編

(イ) キャリアアップ事業（3 事業、参加延人数 628 名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

- ① TOEIC 試験対策講座
- ② 英語実力培訓講座
- ③ 社会保険労務士入門講座

(ウ) 就業継続支援事業（2 事業、参加延人数 205 名）

- ① 経済学講座「世界経済から学ぶ財産防衛」
- ② 美文字～くせ字よさよなら～

(エ) 再就職支援事業（1事業、参加延人数 50名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

- ① 魅せるパワーポイント～中級

(オ) 資格取得講座（7事業、参加延人数 1,722名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 社会保険労務士試験対策講座
- ② 宅地建物取引士試験対策講座
- ③ 2級・3級ファイナンシャル・プランニング技能検定講座
- ④ 日商簿記2級・3級検定講座
- ⑤ 年金アドバイザー3級検定講座

ウ 生活技術講座（12事業、参加延人数 729名）

(ア) 子育て支援事業（6事業、参加延人数 323名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① わらべの日事業「親子でパン教室 前期①②・後期」
- ② 父と子のふれあいクッキング「パパと仲良しピザづくり」
- ③ 親子で作ろう！「プラ板でネームキーホルダー」
- ④ 親子料理教室「パティシエに習うバレンタインスイーツ」

(イ) 生活技術事業（6事業、参加延人数 406名）

食や英会話、趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。

- ① シェフの季節の料理教室 洋風おせち料理、和食料理
- ② 焼きたてパンでナイト・ブランチ
- ③ 暮らしの美文字レッスン
- ④ パーカー先生の旅行英会話

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（13事業、参加延人数 1,237名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) 健康講座

- ① 骨盤調整ピラティス講座
- ② 自分を好きになるメイク術
- ③ バランスボール講座
- ④ フラダンス講座
- ⑤ ムーブ・レディス連携事業「あなたの腸は大丈夫！腸を整えて元気な毎日を」 ほか

オ 市民活動支援・連携事業（12事業、参加延人数 6,687名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 市民企画事業（5事業、参加延人数 392名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

- ① 落語と紙切り
- ② 能舞台でジャズ
- ③ 狂言「柿山伏」
- ④ ムーブフェスタへの参加

(イ) 友の会育成事業（2事業、参加延人数 5,683名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

- ① レディスやはたフェスティバル
- ② 利用者の会バスハイク「九州北部水害地域訪問ツアー」

(ウ) 国際交流事業（2事業、参加延人数 154名）

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 狂言「附子」
- ② JICA 研究員との国際交流「外国人と聴く伝統芸能～和太鼓、大正琴」

(エ) 託児ボランティア（3事業、参加延人数 458名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

- ① 託児ボランティア「えくぼの会」
- ② 保育サポーター養成講座「心肺蘇生、AED 使用訓練」

カ 開館記念講演会（1事業、参加人数 199名）

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

(ア) 開館 40 周年記念講演会 「夢を追い続けて…」

講師：内村周子（体操クラブ指導者、選手）

キ 相談事業（2事業、相談延人数 47名）

(ア) 女性のための相談室

(イ) 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業（3事業）

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。

(ア) 男女共同参画啓発「お母さんが語る女子差別撤廃条約」パネル展示

(イ) ひまわり文庫・雑誌貸出し 1,293冊 ほか

【事業評価と今後の方針】

項目	事業数	参加人数（延べ）	満足度
事業	75事業（92事業）	12,906人（14,683人）	97.1%（96.4%）
事業評価	男女共同参画社会の推進に向けて、多角的に事業を展開した。特に女性の起業を支援するために「リンパドレナージ養成講座」、「ハンドメイドでプチ起業」を実施したほか、「魅力がアップする話し方講座」は新たに活用編を実施するなど充実を図った。保育支援についても、サポーターとの日常の連携を密にしながら、育成のための講座を充実させた。 また、ムーブ・レディス3館連携事業として、映画祭に加え、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座でも連携して取り組み、女性のライフサイクルに沿った健康をテーマにした座学とリンパマッサージを実施した。		
今後の方針	就業支援講座については、受講生のニーズの把握に努め充実を図る。併せて、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座を充実させ、女性が生涯に渡って心身共に健康に過ごせるよう支援していく。 また、引き続き3館連携し類似講座の共通化等に取り組んでいく。		

【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

イ 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

レディスもじ 平成29年度貸室利用人数 92,015人

《参考：総利用者数 115,288人（うち主催事業参加延人数 23,273人）》

レディスやはた 平成29年度貸室利用人数 74,915人

《参考：総利用者数 106,295人（うち主催事業参加延人数 31,380人）》

2 自主事業

(1) 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座（英会話）
- イ 就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等）
- ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（シェイプアップヨガ 等）

(2) 勤労婦人センター自主事業

- ア 就業支援講座（資格取得講座、パソコン講座 等）
- イ 生活技術講座（英会話 等）
- ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（骨盤体操講座 等）

《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的 以外の貸与事業》

【概況】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター(東部・西部)において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

《法人事業》

【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行った。また、フォーラムサポーター活動の推進や賛助会員の加入を促進した。

1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を6回（うち2回はみなし決議）及び定時評議員会、臨時評議員会（みなし決議）を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会	平成29年4月14日みなし決議
第2回理事会	平成29年6月7日開催
第3回理事会	平成29年6月23日みなし決議
第4回理事会	平成29年9月26日開催
第5回理事会	平成29年11月8日開催
第6回理事会	平成30年3月7日開催
臨時評議員会	平成29年4月28日みなし決議
定時評議員会	平成29年6月23日開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウイルスやハッキングなどを未然に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

3 フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員加入の促進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。また、多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めた。

【平成29年度実績】 会費収入 657,000円

区分	年額（1口）	加入人数	加入口数
個人	3,000円	135名	136口
団体	20,000円	12件	12口
学生	1,500円	6名	6口

事業報告の附属明細書

掲載する重要なものは、ありません。

貸借対照表

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	56,301,270	82,746,476	▲ 26,445,206
未収金	78,417	89,944	▲ 11,527
貯蔵品	2,943,358	2,331,144	612,214
仮払金	239,000	239,000	0
流動資産合計	59,562,045	85,406,564	▲ 25,844,519
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	6,382	6,382	0
投資有価証券	329,339,391	329,339,391	0
基本財産合計	329,345,773	329,345,773	0
(2) 特定資産			
特定資産合計			
(3) その他固定資産			
什器備品	657,912	807,110	▲ 149,198
電話加入権	490,000	490,000	0
出資金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	1,197,912	1,347,110	▲ 149,198
固定資産合計	330,543,685	330,692,883	▲ 149,198
資産合計	390,105,730	416,099,447	▲ 25,993,717
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,318,433	31,005,272	▲ 9,686,839
前受金	1,110,696	1,132,032	▲ 21,336
預り金	1,823,231	572,126	1,251,105
仮受金	21,488	40,306	▲ 18,818
流動負債合計	24,273,848	32,749,736	▲ 8,475,888
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	24,273,848	32,749,736	▲ 8,475,888
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
市補助金	300,000,000	300,000,000	0
寄付金	23,166,095	23,166,095	0
指定正味財産合計	323,166,095	323,166,095	0
(うち基本財産への充当額)	323,166,095	323,166,095	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	42,665,787	60,183,616	▲ 17,517,829
(うち基本財産への充当額)	6,179,678	6,179,678	0
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	365,831,882	383,349,711	▲ 17,517,829
負債及び正味財産合計	390,105,730	416,099,447	▲ 25,993,717

正味財産増減計算書

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,721	3,603,721	0
基本財産運用益計	3,603,721	3,603,721	0
受取会費			
賛助会員受取会費	657,000	464,500	192,500
受取会費計	657,000	464,500	192,500
事業収益			
書籍等販売収益	3,240	10,244	▲ 7,004
行事等参加料収益	124,530	171,076	▲ 46,546
事業収益計	127,770	181,320	▲ 53,550
指定管理施設自主事業費収益			
受講料収益	11,110,278	11,911,584	▲ 801,306
教材費収益	3,542,210	4,093,355	▲ 551,145
雑収益	43,700	239,164	▲ 195,464
指定管理施設自主事業収益計	14,696,188	16,244,103	▲ 1,547,915
委託料収益			
国際協力機構委託料収益	6,171,868	5,851,768	320,100
委託料収益計	6,171,868	5,851,768	320,100
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	341,694,600	343,926,670	▲ 2,232,070
北九州市委託金収益計	341,694,600	343,926,670	▲ 2,232,070
受取補助金等			
受取市補助金	54,257,626	56,895,714	▲ 2,638,088
受取補助金等計	54,257,626	56,895,714	▲ 2,638,088
雑収益			
その他雑収益	763,546	369,643	393,903
雑収益計	763,546	369,643	393,903
経常収益計	421,972,319	427,537,439	▲ 5,565,120
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,453,972	4,338,600	115,372
給料手当	100,740,852	101,514,335	▲ 773,483
臨時雇賃金	1,031,070	680,323	350,747
福利厚生費	22,339,417	21,388,466	950,951
会議費	390,121	402,308	▲ 12,187
旅費交通費	4,615,294	4,596,580	18,714
通信運搬費	4,557,097	4,902,739	▲ 345,642
備品購入費	1,040,023	2,082,938	▲ 1,042,915
減価償却費	626,558	559,485	67,073
消耗品費	15,939,506	16,750,399	▲ 810,893
修繕費	27,161,513	17,266,931	9,894,582
印刷製本費	2,897,284	2,981,045	▲ 83,761
光熱水費	45,757,883	39,733,557	6,024,326
保険料	837,478	972,662	▲ 135,184
賃借料	9,796,218	8,390,432	1,405,786
諸謝金	17,877,845	15,695,796	2,182,049
租税公課	9,320,849	9,943,621	▲ 622,772
支払負担金	251,600	267,500	▲ 15,900
支払助成金	1,833,000	2,087,071	▲ 254,071
委託料	144,298,074	145,164,654	▲ 866,580
JICA資材費等	152,296	191,384	▲ 39,088
雑費	6,450	3,050	3,400
事業費計	415,924,400	399,913,876	16,010,524

管理費			
役員報酬	3,658,845	4,399,400	▲ 740,555
給料手当	8,847,080	8,867,057	▲ 19,977
福利厚生費	2,355,659	2,581,753	▲ 226,094
旅費交通費	1,079,300	1,150,568	▲ 71,268
通信運搬費	206,890	192,860	14,030
備品購入費	66,368	63,300	3,068
減価償却費		20,193	▲ 20,193
消耗品費	172,366	245,570	▲ 73,204
修繕費	3,546,303	63,720	3,482,583
印刷製本費	226,195	268,358	▲ 42,163
光熱水費	183,238	182,405	833
保険料	3,627	3,627	0
賃借料	1,315,308	1,386,589	▲ 71,281
諸謝金	40,000	40,000	0
委託料	1,372,464	2,008,771	▲ 636,307
租税公課	86,651	88,579	▲ 1,928
支払負担金	402,830	458,190	▲ 55,360
雑費	2,624	4,054	▲ 1,430
管理費計	23,565,748	22,024,994	1,540,754
経常費用計	439,490,148	421,938,870	17,551,278
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 17,517,829	5,598,569	▲ 23,116,398
投資有価証券評価損益等		100,000	▲ 100,000
評価損益等計		100,000	▲ 100,000
当期経常増減額	▲ 17,517,829	5,698,569	▲ 23,216,398
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品除却損		13,422	▲ 13,422
固定資産除却売却損計		13,422	▲ 13,422
経常外費用計		13,422	▲ 13,422
当期経常外増減額		▲ 13,422	13,422
当期一般正味財産増減額	▲ 17,517,829	5,685,147	▲ 23,202,976
一般正味財産期首残高	60,183,616	54,498,469	5,685,147
一般正味財産期末残高	42,665,787	60,183,616	▲ 17,517,829
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,721	3,603,721	0
基本財産運用益計	3,603,721	3,603,721	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	3,603,721	3,703,721	▲ 100,000
当期指定正味財産増減額	0	▲ 100,000	100,000
指定正味財産期首残高	323,166,095	323,266,095	▲ 100,000
指定正味財産期末残高	323,166,095	323,166,095	0
III 正味財産期末残高	365,831,882	383,349,711	▲ 17,517,829

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	日本及びアジア地域の 女性の地位向上を 図る事業	男女共同参画社会の 形成を推進する事業	小 計	北九州市大手町 ビル維持管理事業	男女共同参画センター 公益目的外貸与事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息	1,801,860		1,801,860			1,801,861		3,603,721
基本財産運用益計	1,801,860		1,801,860			1,801,861		3,603,721
受取会費								
賛助会員受取会費	328,500		328,500			328,500		657,000
受取会費計	328,500		328,500			328,500		657,000
事業収益								
書籍等販売収益	3,240		3,240					3,240
行事等参加料収益	119,530		119,530			5,000		124,530
事業収益計	122,770		122,770			5,000		127,770
指定管理施設自主事業費収益								
受講料収益		11,110,278	11,110,278					11,110,278
教材費収益		3,542,210	3,542,210					3,542,210
雑収益		43,700	43,700					43,700
指定管理施設自主事業費収益計		14,696,188	14,696,188					14,696,188
委託料収益								
国際協力機構委託料収益	6,171,868		6,171,868					6,171,868
委託料収益計	6,171,868		6,171,868					6,171,868
北九州市委託料収益								
北九州市委託金収益		285,169,431	285,169,431	40,793,493	15,731,676	56,525,169		341,694,600
北九州市委託金収益計		285,169,431	285,169,431	40,793,493	15,731,676	56,525,169		341,694,600
受取補助金等								
受取市補助金	32,987,453		32,987,453			21,270,173		54,257,626
受取補助金等計	32,987,453		32,987,453			21,270,173		54,257,626
雑収益								
その他雑収益	533,732	69,600	603,332			160,214		763,546
雑収益計	533,732	69,600	603,332			160,214		763,546
経常収益計	41,946,183	299,935,219	341,881,402	40,793,493	15,731,676	23,565,748		421,972,319
(2) 経常費用								
事業費								
役員報酬	1,908,845	2,545,127	4,453,972					4,453,972
給料手当	15,445,498	85,295,354	100,740,852					100,740,852
臨時雇賃金		1,031,070	1,031,070					1,031,070
福利厚生費	5,037,544	17,301,873	22,339,417					22,339,417
会議費	301,147	88,974	390,121					390,121
旅費交通費	3,044,314	1,570,980	4,615,294					4,615,294
通信運搬費	1,138,490	3,418,607	4,557,097					4,557,097
備品購入費	154,859	885,164	1,040,023					1,040,023
減価償却費	4	626,554	626,558					626,558
消耗品費	974,993	14,964,513	15,939,506					15,939,506
修繕費		20,263,531	20,263,531	6,897,982		6,897,982		27,161,513
印刷製本費	1,325,822	1,571,462	2,897,284					2,897,284
光熱水費	427,552	28,429,975	28,857,527	12,608,093	4,292,263	16,900,356		45,757,883
保険料	31,673	805,805	837,478					837,478
賃借料	2,030,024	7,766,194	9,796,218					9,796,218
諸謝金	3,835,845	14,042,000	17,877,845					17,877,845
租税公課	190,570	7,179,986	7,370,556	1,564,774	385,519	1,950,293		9,320,849
支払負担金	71,600	180,000	251,600					251,600
支払助成金		1,833,000	1,833,000					1,833,000
委託料	8,766,998	104,754,538	113,521,536	19,722,644	11,053,894	30,776,538		144,298,074
JICA資材費等	152,296		152,296					152,296
雑費	6,450		6,450					6,450
事業費計	44,844,524	314,554,707	359,399,231	40,793,493	15,731,676	56,525,169		415,924,400
管理費								
役員報酬						3,658,845		3,658,845
給料手当						8,847,080		8,847,080
福利厚生費						2,355,659		2,355,659
旅費交通費						1,079,300		1,079,300
通信運搬費						206,890		206,890
備品購入費						66,368		66,368
消耗品費						172,366		172,366
修繕費						3,546,303		3,546,303
印刷製本費						226,195		226,195
光熱水費						183,238		183,238
保険料						3,627		3,627
賃借料						1,315,308		1,315,308
諸謝金						40,000		40,000
委託料						1,372,464		1,372,464
租税公課						86,651		86,651
支払負担金						402,830		402,830
雑費						2,624		2,624
管理費計						23,565,748		23,565,748
経常費用計	44,844,524	314,554,707	359,399,231	40,793,493	15,731,676	56,525,169	23,565,748	439,490,148
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,898,341	▲ 14,619,488	▲ 17,517,829	0	0	0	0	▲ 17,517,829
当期経常増減額	▲ 2,898,341	▲ 14,619,488	▲ 17,517,829	0	0	0	0	▲ 17,517,829
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								
(2) 経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	▲ 2,898,341	▲ 14,619,488	▲ 17,517,829	0	0	0	0	▲ 17,517,829
一般正味財産期首残高	11,947,655	38,589,986	50,537,641	0	0	9,645,975		60,183,616
一般正味財産期末残高	9,049,314	23,970,498	33,019,812	0	0	9,645,975		42,665,787
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益								
基本財産受取利息	3,603,721		3,603,721					3,603,721
基本財産運用益計	3,603,721		3,603,721					3,603,721
一般正味財産への振替額								
一般正味財産への振替額	3,603,721		3,603,721					3,603,721
当期指定正味財産増減額	0		0					0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048			161,583,047		323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048			161,583,047		323,166,095
III 正味財産期末残高	170,632,362	23,970,498	194,602,860	0	0	171,229,022		365,831,882

財務諸表に対する注記

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成30年3月31日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成26年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準および評価方法
満期保有目的の債券・・・取得原価
- (3) 固定資産の減価償却方法
什器備品・・・定率法
無形固定資産・・・定額法
- (4) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,382	0	0	6,382
投資有価証券	329,339,391	0	0	329,339,391
小計	329,345,773	0	0	329,345,773
合計	329,345,773	0	0	329,345,773

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	6,382	—	(6,382)	—
投資有価証券	329,339,391	(323,166,095)	(6,173,296)	—
小計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—
合計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	10,994,789	10,336,877	657,912
小計	10,994,789	10,336,877	657,912
合計	10,994,789	10,336,877	657,912

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	取得価額	時価	評価損益
投資有価証券			
29神奈川県20年債	200,000,000	225,580,000	25,580,000
第311回10年国債	99,755,000	102,290,000	2,535,000
新潟県25年度第1回公債	20,000,000	20,676,660	676,660
第61回利付国債20年	9,484,391	10,078,841	594,450
155共同発行地方債	100,000	100,750	750
合計	329,339,391	358,726,251	29,386,860

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金	北九州市	300,000,000	0	0	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	0	54,257,626	54,257,626	0	一般正味財産
合計		300,000,000	54,257,626	54,257,626	300,000,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。
(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産利息 (29神奈川県20年債)	2,578,000
基本財産利息 (第311回10年国債)	800,000
基本財産利息 (新潟県25年度第1回公債)	130,000
基本財産利息 (第61回利付国債20年)	95,500
基本財産利息 (155共同発行地方債)	220
基本財産利息 (福岡銀行定期預金)	1
小 計	3,603,721
合 計	3,603,721

9. 関連当事者との取引の内容
該当なし

10. 重要な後発事象
該当なし

財務諸表の附属明細書

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成30年3月31日現在

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財産目録

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成30年 3月31日現在

(単位:円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金		北九州市雑収入納付金ほか 手許現金	21,588 3,245
	普通預金	(決済)福岡銀行/北九州市市内支店/1043638 (指定管理)福銀/北九州市市内支店/1142547 (ムーフ自主)福銀/北九州市市内支店/1150434 (レディス自主)福銀/北九州市市内支店/1150451 (ムーフ自主)ゆうちょ銀行/01780-5-77422	運転資金として " " "	14,287,480 11,515,325 21,964,413 7,398,523
	未収金	(株)アペックスほか	開講講座の受講料 公益法人に係る未収金	1,110,696 78,417
	貯蔵品		公益目的事業に係る貯蔵品	2,943,358
	仮払金	釣り銭準備金(ムーフ) 釣り銭準備金(レディス)	公益目的事業に係る仮払金 公益目的事業に係る仮払金	179,000 60,000
流動資産合計				59,562,045
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	福岡銀行北九州市市内支店	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している	6,382
	投資有価証券	大和証券株式会社ほか	"	329,339,391
特定資産				
その他固定資産				
	什器備品	事務所内	公益目的保有財産	657,912
	電話加入権	NTT	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している	490,000
	出資金	環境パートナーシップ会議		50,000
固定資産合計				330,543,685
資産合計				390,105,730
(流動負債)				
	未払金	職員ほか	職員に対する3月分未払給与ほか	21,318,433
	前受金		平成30年度講座受講料	1,110,696
	預り金	職員ほか	社会保険料個人負担分ほか	1,823,231
	仮受金	施設運営課	市設置印刷機ほか使用料	21,488
流動負債合計				24,273,848
(固定負債)				
負債合計				24,273,848
正味財産				365,831,882

監査報告書

平成30年 5月 16日

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

理事長 堀内光子様

監事 立花秀樹 

監事 石井佳子 

私たち監事は、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム定款第10条の規定により、理事長から提出された当法人の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業報告及び計算書類等について、平成29年度監査を行いましたので、その方法及び結果について下記のとおり報告します。

記

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について監査を実施しました。

2 事業報告及びその附属明細書等の監査結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

3 計算書類及びその附属明細書等の監査結果

計算書類及びその附属明細書等は、当法人の財産及び損益等の状況を、すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

4 重要な後発事象

ありません。

以上